

教育情報 No.29

Educational information

02. 私が地縁血縁のない老舗蒲鉾会社の社長になった理由

株式会社吉開のかまぼこ 代表取締役社長 林田茉優

04. 探究心を呼び起こし、主体的に思考し生徒が創る学校改革

～最上位目標「主体的に思考し表現する集団」～

前愛知県名古屋市立八幡中学校校長(現同市香流中学校校長)

高橋幸夫

06. 宇宙版シリコンバレーを目指して
SPACE COTAN株式会社 代表取締役社長兼CEO

小田切義憲

08. 探究「シブヤ未来科」への挑戦

東京都渋谷区立加計塚小学校校長

平野真由美

林田 茉優さん

株式会社吉開のかまぼこ 代表取締役社長

特集

探究心を呼び起こす
～深い学びへ～

日文の Web サイト



日文



心が動く、その先へ。

日本文教出版



私が地縁血縁のない老舗蒲鉾会社の わ け 社長になった理由

株式会社吉開のかまぼこ 代表取締役社長 林田 茉優さん

中小企業の後継者問題への好奇心

中学校・高校時代はプラスバンド部に一身に打ち込み、マーチングの指導者資格を取り、将来は指導者になるのが夢でした。高校のときは全国から演奏の依頼があり、保育所や介護施設、ホテルでの演奏も行いました。そのとき、「世の中には様々な仕事があるんだなー」と漠然と肌で感じました。その瞬間でした。ふと、「このままマーチングの指導者として突き進んでいいのだろうか? 社会に出る前にもう少し視野を広げて自分にとってのベストを選ぶ時間があつてもいいのかな」と考えるようになり、その一つとして大学に行くことを考えました。

福岡にある地元の大学のオープンキャンパスに行ってみたところ、たまたまベンチャーエンタープライズの先輩に乗せられ模擬授業を見ることになりました。授業の内容は、学生が主体となり外部企業の人に来てもらい、人生の経験や失敗談などを話すのが中心でした。また、自ら決めたテーマに沿った企業に自分たちで連絡をとり、訪問取材をするという活動でした。いろいろな業界

業種の人から刺激を得られることに感銘を受け、いつの間にかベンチャーエンタープライズの授業を受けるために大学進学を決意していました。

大学も4年になる頃、企業の課題や社会課題に取り組むゼミに属していた私は、ゼミの教授から「日本のものづくりはすごい!」ということを聞かされ、一つの事例として、痛くない注射針(世界一細い注射針)を開発した岡野工業がありました。その1週間後、岡野工業が廃業というニュースが流れ、理由は跡継ぎがないからでした。私は「本当かいな?」と思い、直接会って話を聞いた際、技術を承継することは、いくらお金があっても、よい人がいたとしてもすぐに引き継げるものではないということを伺いました。悔しさやモヤモヤがある中で、「役に立てる人になりたい!」と思ったところから、今につながる道が開けてきました。

えっ! 老舗「吉開のかまぼこ」の後継者?

悩みを抱えている企業を調べていたところ、最初に出会ったのが吉開のかまぼこでした。130

年以上の歴史があり、業界では珍しいとされる自然由来の原料に妥協せずにこだわっている会社でした。無添加で作ることは難しく、それに8年間の歳月をかけ研究を重ねた末に完成させていました。ただ、当時高齢による体力の限界と跡継ぎがいないことから廃業を前提とした休業状態でした。「ここだ!」と確信し、大学4年生のときに門をたたきました。関わってみると、復活を望む電話やメール、手紙がひっきりなしに寄せられていました。当時私は、特に蒲鉾 자체には興味はありませんでした。しかし、顧客との関係性や誇りをもって仕事をしていると想像すると、感動して気づいたら吉開社長の手を握り、「復活に向けて手伝わせてください!」と声を発していました。



▲前社長に指導を受けながら蒲鉾を作っている様子

糸余曲折ありながら3年後、コンピューターシステム会社のフロイデが引き継ぐことになりました。株式譲渡調印式の1週間前、フロイデの当時の社長から、結果として吉開のかまぼこは4年間休業したので、そこからの復活は相当なパワーが必要で、フロイデの経営をしながらではできないと言われ、「林田さんが社長をやらないか」という話になりました。当時社会人2年目の24歳で社会人経験もままならない状況で蒲鉾を作った知識や経験もなく、できると思えることが一つも見当たらませんでした。それを私が引き受けるのは無責任だと思い、必死で断ろうとしました。フロイデの社長からは「林田さんがスキルや能力がなくても、それらがある人を巻き込めば問題ない。ただ中心に想いの強い人がいないと巻き込むことはできないし、

林田さん以上に想いの強い人はいないのではないかですか。もしもあなた以上に想いの強い人がいるならば連れてきてください」と言われ悩み、吉開社長に相談の連絡をしたところ、「それ、よかやんね」と言われたのです。約3年間無償で熱心に応援してくれた林田さんなら信頼できるということでした。私も断る姿勢から真剣に考えるようになったとき、岡野工業のことが頭をよぎりました。そして、1週間後には押印して、急転直下、4代目の社長に就任しました。

学校へのメッセージ

私の人生で今まで蒲鉾屋になりたいと思ったことはありませんでしたが、今、蒲鉾屋をしています。目標をもつことは重要だと思いますが、高校のときの様々な場所に訪問して働いている人の姿を見たり、大学生のときの実際に会社を訪問して足を使って情報を集めたり、人の出会いによって人脈が広がったことは将来の賜物となりました。それを3つにまとめるなら、人脈、経験、知恵となります。

ですので、様々な人たちとの出会いや、経験ができる学びの場が広がることがゆくゆくは子どもたちの将来の可能性を広げることになるのではないかでしょうか。是非そういう場を作ってほしいと願っています。

林田 茉優
株式会社吉開のかまぼこ代表取締役社長。
2020(令和2)年、福岡大学経済学部卒業。
学生時代に中小企業の後継者未定問題に興味をもち、福岡の老舗蒲鉾屋「吉開のかまぼこ」の復活に向けた支援活動を始める。卒業後、日本の技術・伝統を次世代へつなぐためCON株式会社を設立。2021年12月に3年間支援を続けた株式会社吉開のかまぼこの代表取締役社長に就任。日本の後継者問題解決のモデルを目指す。



撮影: 神田 綾香

探究心を呼び起こし、主体的に思考し 生徒が創る学校改革～最上位目標 「主体的に思考し表現する集団」～

前愛知県名古屋市立八幡中学校
校長（現同市香流中学校校長）
高橋 幸夫

ウェルビーイングな学校を探究

VUCAの時代の中で社会は、状況を読み取り、考え、主体的に行動できる人材を求めている。探究学習が始まった背景には、教師が与える学習からの脱却が求められていると考える。しかし、教育現場を見渡すと、学校生活は校則でがんじがらめ、教科教育は教師側から一方的にインプットする授業が少なくない。その原因は「校則を緩めたら学校が荒れる」と不安を口にする教師や「インプットしないとアウトプットできない」「入試に必要な知識は教え込まないといけない」などの考えからマインドセットチェンジできない教師が多いことだと考えている。

最初の改革はトップダウンだった。酷暑の折には、制服でも体操服でも自由なTシャツ・ハーフパンツでもよいこととし、「生徒に自己決定の場を与える」と職員に理解を求めた。TPOを思考することの大切さを指導するとともに、自由化することで主体的に思考する姿が見られるようになった。猛反対していた教師もマインドセットチェンジが進み、改革への一歩となった。

ウェルビーイングな特別活動を探究

生徒を学校運営に参画させ、ウェルビーイングな学校を探究することにより、主体的に思考する態度を養おうと考えた。

「私はスカートを履きたくないです。女子がスラックスをはいてもいいのではないか」という声を拾い、新制服実行委員会を立ち上げた。生徒がメーカーと会議を行い、新制服を決めたのを皮切りに、校則や行事におけるルール（修学旅行や文化祭でのスマホの持参）などを生徒が主体的にウェルビーイングな学校を探究するようになっていく。

創造的・探究的ではない従来の生徒委員会は廃止し、委員会の仕事だったシャボネット補充や休み時間のボール貸し出しは、学級に係を置いた。生徒が学校づくりのために必要だと考え、探究できる委員

会のみを毎年立ち上げることとした。

初年度は、自動販売機運営、サークル活動、体育祭、文化祭、PV制作、体操服変更の6プロジェクト委員会が立ち上がった。体育大会や合唱コンクールを行っていたが、「運動が苦手な人や歌が苦手な人は苦痛な一日になる」と生徒が企画運営する体育祭へ、合唱だけでなくどのような種目をやるのかから決めていく文化祭へと変貌した。文化祭では、やりたい種目を募集し、どこかの種目に参加するという方法をとっている。学年の縦割りでチームを作り、楽しい行事を探究していく。ある年生が「カジノをやりたい」と言ってきた。「義務教育でカジノをやる教育的意義とは何か」と職員で話し合う機会をもち、実施に至った。



文化祭、手作りルーレット・手作りコインで楽しむ生徒の様子

ウェルビーイングな放課後を探究

アフタースクール構想として、水曜日の放課後サークル活動を実施することにした。サークル活動は、大会やコンクールには出場しない、生徒の「やりたい！」を具現化する活動とした。eスポーツ大会やサンドアート、BBQなど多岐にわたっている。週に1回の活動は、教師や生徒も参加しやすく、企業や地域人材の活用がしやすくなっている。その中でもeスポーツサークルは、大会のポスターを作りたい、大会のMCをやりたいといったプレーヤー以外で関わりたいという生徒が現れ、それぞれの場で輝く場所があればよいと考えて始めた。その趣旨に賛同してくれた県外の中学校とオンラインで対外試合をやることになり、生徒どうしがzoomでゲームの種目やルールを決めた。学習やスポーツなどが苦手な生徒たちの活躍の場であり探究の場でもある。

ウェルビーイングな学級を探究

「あの先生とは合わない」という生徒の言葉。「あの先生に担任をしてほしくない」という保護者の言葉。「学級担任はできません」という教師の言葉。教員の業務の増大や生徒、保護者の価値観の多様化により、学級経営を一人の教師が担うのは限界で、一人1学級の学級担任制は崩壊していると考える。特に担任と合わないから不登校になるという生徒がいることは見過せない。

3クラスを1週間ごとに5人の教師で回すというチーム担任制を取り入れた。スタート時こそ生徒、保護者、教師の不安が耳に届いた。2年目に入ると、担任制に対する話題は聞こえなくなり、先生色のクラスからウェルビーイングな学級を探究する生徒色のクラスへと変わってきた。卒業式後の生徒だけの学級活動は感動的なものであった。あるクラスは何人かの代表生徒が語り、それに対して会話が進む。あるクラスは中学校の思い出縛りのフルーツバスケットを行い「一番の思い出は修学旅行の人」。生徒は口々に修学旅行の思い出を語りながら席を換わる。チーム担任制は、生徒主体、ウェルビーイングな学級の探究なのである。



卒業式後の生徒だけの最後の学活の様子「3年間の思い出縛り」のフルーツバスケット

ウェルビーイングな学びを改革

授業改革:ドローンをサッカーの授業に取り入れ、試合を撮影した後にチームでタブレットの映像を見て、ポジションや動きを振り返る。チームで対話、思考し、次の作戦、動きを探究する。VRゴーグルで沖ノ鳥島を見た後、「なぜ国は岩礁を守るのかグループで話し合おう」という授業などICTを利活用し、思考・判断・表現力の向上に力を入れ、課題探究型に転換している。

テスト改革:「思判断表テスト」と銘打ち、思考・判断・表現の観点に特化したテストを行っている。1年生の国語では「好きな季節を選び、その魅力を30秒以内で動画を撮影し、提出しなさい」という探究型のテストへの改革にも取り組んだ。

ウェルビーイングな学校を探究する心構え

教員が自主性と主体性の違いを理解してマインドセットチェンジし、主体的な態度で生きる力を身につける支援をしようという感覚が必要だ。価値観の多様化は教師の中でも進み、マインドセットはそれぞなのだから、細かな指導まで合意形成できない。多数決で決めたことを全員でやろうと言うが、それはマイナリティを切り捨て、多様性の無視だと感じている。学校で絆だとか団結だとか心一つにとか美德のように語ってきた統一は、何人かを置いてきぼりにして成り立っている。一つだけ「最上位目標」を合意形成し、枝葉の部分は教師それぞれの価値観を生徒に語ればよいのである。違うからこそ生徒は多くの価値観に触れ、取捨選択し、自己決定していくのだ。

革新的取り組みは、保護者や一般市民からも批判や質問を受けるが、2年間はやってみること、どのようなタイプの生徒や保護者が反対しているのかを分析することをお勧めする。チーム担任制やeスポーツ、文化祭での模擬カジノなど幾度となく腹をくくった。しかし、生徒は言う。「マスコミにも取り上げられるすごい学校が大好きです。好きだけではありません。他の学校ではできないようなことをやれて、多くの思い出や学びがある学校は私たちの誇りです」と。

著者プロフィール



高橋 幸夫（たかはし ゆきお）
名古屋市立香流中学校 校長。
美術科教諭 生徒指導主事、進路指導主事などの経験から、自己決断や自己責任を教え、「主体性」を身につける教育の重要性を考えるようになる。
令和2年度より八幡中学校校長として赴任、学校改革に取り組む。
令和7年度より現職。

宇宙版シリコンバレーを目指して

SPACE COTAN 株式会社
代表取締役社長兼 CEO
小田切 義憲

北海道大樹町・商業宇宙港 「北海道スペースポート」

ここに宇宙基地を造ろうと思ったのは、実は大樹町なのです。1985（昭和60）年、21世紀を控えて次の新たな産業をどうやって創っていくかという中、北海道庁が21のプロジェクトを立ち上げ、その中の一つに大樹町での北海道航空宇宙産業基地構想が組み込まれました。この時から大樹町での宇宙産業誘致が始まりました。なぜここで宇宙産業かというと、地理的な環境が非常によいからです。ロケットを打ち上げる東側と南側が海に開かれており、天候のよい日が多く、航空路や海上航路があまり混雑していないため、打ち上げの最適地なのです。

当時、世の中はバブル景気の真っ最中で、ここに宇宙基地を造る構想がもち上がりました。その後もJAXAの前身団体が大樹町で日本版スペースシャトルの実験をしようということで町も施設の整備を進めたのですが、残念ながらJAXAの実験は別の場所になってしまいました。それ以降も着実に様々な実験を受け入れ、40年間止まることなく自治体として宇宙のまちづくりを続けてきて今につながっています。

5年余り前から、アメリカのスペースXをはじめとした民間企業が、宇宙産業に乗り出すという新しい風が吹き始めました。それまでは国の産業分野だったのですが、技術的革新により人工衛星やロケットが小さくなり、從来と比較して安価に造れる



高頻度打ち上げが可能なロケット射場
Launch Complex2 (LC2) のイメージ図
(SPACE COTAN 提供)

ようになったことで、民間でも手が出せるような産業に成長してきました。拡大するロケット打ち上げ需要に応えようと、2021（令和3）年4月に大樹町が中心となって北海道スペースポートを運営するSPACE COTANという会社を立ち上げました。その後は大樹町と我々が協力しながら事業を進めています。

他の射場との違い、そして未来予想図

私が中学生のころ、理科の授業で日本には鹿児島県の種子島と内之浦にロケットの射場があり、それは日本の中では赤道に近い南にあるからと聞いていました。そしてこの仕事をお引き受けする際に、「あれっ、北海道はずいぶん赤道から遠いけれどいいのかな」と思ったのですが、携わってみたら理由がわかりました。静止軌道に人工衛星を打ち上げる場合には、赤道に近い低緯度地域から打ち上げるほうが燃料を節約でき、合理的です。しかし、今は北極と南極を通る極軌道や、人口の多いエリアの上空を通る軌道に人工衛星を打ち上げ、地球を観測したり通信に使ったりすることが多くなっています。これらの軌道に打ち上げる場合は射場が高緯度にあっても不利にはなりません。また、大樹町は東から南にかけて海が広がっているので、顧客のニーズによって軌道傾斜角の選択肢が多く、そうした点からも大変恵まれた場所なのです。

北海道スペースポートには1,300mの滑走路があり、無人機の実験などで企業や団体に使っていただいている。ロケットのような垂直型と滑走路を使って離着陸する水平型の両方の宇宙機に対応した場所は国内には他になく、海外でもそれほど多くありません。

将来的にはロケットエンジンを積んだ宇宙機で



北海道スペースポート (HDSPO) の空撮 (SPACE COTAN 提供)

地球上を移動するP2P（二地点間高速輸送）が実用化される見込みです。超音速機だとマッハ4ぐらいですが、宇宙機だとマッハ7～8ぐらいなので約2倍の速さになり、日本からニューヨークやロンドンが1時間ぐらいで行けるようになります。現在は実験中で、約10年以内には飛び始めると想定されています。

宇宙産業と近未来の世界

これから国をあげて宇宙産業を伸ばそうとしていますが、その産業成長のスピードと宇宙関連人材育成の位相は合っていません。SJAC（日本航空宇宙工業会）の調査によると、現在日本にはおよそ9,000人の宇宙関連従事者しかいません。今ではスタートアップ企業が続々とできていて、ロケットを打ち上げる会社もあれば、人工衛星を打ち上げる会社もあり、衛星データを活用して効率的で豊かな生活を実現しようとしている会社もあります。ある研究ではこの宇宙関連産業が成長し、定着させるには10万人程度の人材が必要だと言われています。そのため人の養成が急務となっています。仕事の選択肢の一つとして宇宙産業があることを示していくことが大事だと思っていますし、宇宙産業がかつての北海道を支えた石炭、製鉄、製紙産業に次いで、新たに北海道を支える産業になるべきだとも考えています。道央の半導体産業

とともに、道東の宇宙産業は、どこでもできる仕事ではなく、ここならではの産業です。宇宙産業はロケットを打ち上げて終わりではなく、すそ野が広い産業なので、宇宙港の周辺に新しい仕事や関連する広範な産業が生まれます。大樹町ではホテルや有名雑貨店がすでに新規進出しています。最終的にはスペースポートシティが出来上がり、周辺地域全体の活性化につなげていくことが重要であると考えています。

著者プロフィール



小田切 義憲（おだぎり よしのり）
SPACE COTAN 株式会社 代表取締役社長兼 CEO
1987（昭和62）年、全日本空輸（ANA）入社。
主に運航管理の関連業務を担当。
成田空港、羽田空港のオペレーション業務部門
責任者を経て、2011（平成23）年、アジア戦略室副室長に就任。エアアジア・ジャパン（株）
の初期要員として参画し、2012年、社長に就任。
2016年、（株）ANA総合研究所に入社。自治
体、空港管理会社が発注する国内空港の活性化
等に関する調査・研究を担当。2021（令和3）
年4月より現職。



探究「シブヤ未来科」への挑戦

東京都渋谷区立加計塚小学校 校長 平野 真由美

探究「シブヤ未来科」とは

渋谷区では「自ら考え判断して学び続けていく自己調整力」「多様な仲間と協働して新たな価値を生み出す創造力」「自分が思い描く未来を実現していく挑戦力」の育成に重点を置くとともに、個別最適な学び、協働的な学び、探究的な学びを重視して、シブヤモデル「未来の学校」に向けた教育を進めています。

その方向性を受けて、渋谷区立小・中学校では、令和6年度から文部科学省の授業時数特例校制度を活用し、小学校第3学年以上で総合的な学習の時間の時数を増やし、探究「シブヤ未来科」をスタートさせました。

探究「シブヤ未来科」取り組みイメージ



探究「シブヤ未来科」の実施に向けて

探究「シブヤ未来科」の実施にあたり、各教科の時数を9割にし、総合的な学習の時間の時数を2倍に増やしています。また、探究「シブヤ未来科」は、探究に必要なスキルを学ぶ「基礎探究」、従来の総合的な学習の時間である「テーマ探究」、児童の興味関心に応じて学びを深める「マイ探究」に分類されています。

探究「シブヤ未来科」の実際

「基礎探究」では、教員のカリキュラムをデザインする力の高まりを感じています。例えば、昨年度（前任校）の4年生では、国語科×社会科×外国語活動=留学生に英語で東京都の魅力を紹介しようという学習活動を行いました。紹介方法も、スライド、紙芝居、クイズ形式など基礎探究で学んだことを生かしていました。4年生のテーマ探究が「福祉」であることから、そこにもつながるよう意識していました。

「テーマ探究」は、子どもたちの発想によって探究のプロセスの

範囲や質が広がっていきます。現任校の5年生は「キャリア教育」について探究をしていますが、保護者や教職員へのインタビュー、企業と連携した社会体験カリキュラムを経て、実際の社会を体験したいと、先日は自分たちで企業に電話をしていました。電話での依頼がうまくいったのか（根回しはあえてしていないこと）は、この原稿を書いている今はわかりません。ただ、渋谷区の強みは、子どもたちのためならと力を貸してくれる企業や個人商店、公共施設がたくさんあることです。

「マイ探究」は、新しい取り組みであることから、各校手探り状態です。現任校では、テーマ探究を発展させる形でマイ探究を行っています。例えば、4年生のテーマ探究は「防災」なのですが、テーマ探究の学びが深まってきた段階で、「防災」に関してそれぞれの児童が問い合わせを立て探究をしていきます。前任校では、単学級ということだったもあり学年の枠を取りはらい、自分が探究したい内容に合わせて学ぶ場所を子どもたちが選択しています。

終わりに

探究「シブヤ未来科」の実施において、一番必要となってくるものは「ワクワク感」だと私は思っています。少なくとも、私は子どもたちと教員が、どのような探究を繰り広げていくのか、日々ワクワクしています。うまくいったことも、うまくいかなかったことも全て学びであり、「うまくいったね」「この方法ではうまくいかないことがわかったね」というトライ＆エラーの精神で実践を重ねていき、最終的に自分が思い描く未来を実現していけたらと願っています。

著者プロフィール

平野 真由美 (ひらの まゆみ)



1998（平成10）年神奈川県川崎市の小学校教員として採用。2005（平成17）年3月に退職、4月に東京都の小学校教員として採用。西東京市、東京都教育庁、中野区を経て、2021（令和3）年4月に渋谷区立鳩森小学校長に昇任。2025年4月に現任校に異動、現在に至る。

アンケートのお願い

右の二次元コードより回答いただいた方には、ご希望の機関誌の最新号をお届けします。



教育情報 No.29

日文 教授用資料
令和8年（2026年）2月6日発行

編集・発行人 佐々木 秀樹

日本文教出版株式会社
〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL: 06-6692-1261
FAX: 06-6606-5171

本書の無断転載・複製を禁じます。
CD33776

日本文教出版株式会社

<https://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL: 06-6692-1261 FAX: 06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL: 03-3389-4611 FAX: 03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL: 092-531-7696 FAX: 092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F-B
TEL: 052-979-7260 FAX: 052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1
TEL: 011-764-1201 FAX: 011-764-0690